

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年7月31日

独立行政法人水資源機構

木曽川上流ダム総合管理所長 中野 春男

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、木曽川上流ダム総合管理所味噌川ダム管理所で予定している「味噌川ダム洪水吐き基礎排水孔改修工事（仮称）」の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、木曽川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員の人数等を記載して提出して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いませんが、項目は別紙-2を参考にして下さい。
- (2) 提出期間：令和8年8月3日から令和8年8月19日まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後4時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構木曽川上流ダム総合管理所長 中野 春男 宛
【担当】総務課 森（もり）
〒509-7202 岐阜県恵那市東野字花無山2201-79
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所
TEL 0573-25-5295 FAX 0573-25-9221
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送またはFAX（社印があること）により提出するものとします。（社印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先の明記により省略可能）

4. 参考見積内容

- (1) 工事基本条件
味噌川ダムの洪水吐き基礎排水孔を新たに削孔し、基礎排水管を設置するものである。
- (2) 工事作業項目、作業内容
別紙-1「見積仕様書」のとおりとします。

(3) 工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記（2）「工事作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な作業員の人数等を徴取します。

(4) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和8年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和8年8月3日から 令和8年8月7日まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで
- (2) 提出場所：3. (3) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4) に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和8年8月12日 から令和8年8月19日まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

見積仕様書

1. 見積範囲の概要

味噌川ダムの洪水吐き基礎排水孔を新たに削孔し、基礎排水管を設置するものである。

2. 施工場所

長野県木曽郡木祖村小木曽地内(別添図参照)

3. 施工内容

【仮設工】

1-1 仮設物の設置・撤去

次に示す仮設物を設置する場合には、各仮設物の設置・撤去の詳細について、監督員の承諾を得るものとする。

工事用水は、堤内排水釜場内の水及び洪水吐き監査廊排水溝の水を使用できるものとする。

- (1) ボーリング仮設足場（階段部）
- (2) 給水設備
- (3) 電気設備

1-2 資機材運搬工

受注者はダム堤体内での資機材の搬入搬出に、管理所のエレベータを使用することができる。使用する際は、エレベータの床と壁の養生を行うものとする。

なお、受注者の責において施設等に損傷を与えた場合は、受注者の負担により補修等を行わなければならない。

参考に管理所エレベータの規格・寸法を以下に示す。

最大積載量：750kg

出入口寸法：幅 900mm、高さ 2,100mm

かご内寸法：幅 1,400mm、高さ 2,350mm、奥行 1,350mm

1-3 排水処理工

受注者は、濁水が釜場及びダム底部に直接流れ込まないようにし、発生した汚泥を処分するものとする。釜場において基本的に1日3回（作業開始前、作業途中、作業終了後）水素イオン濃度の計測(pH)をポータブル水質計等で行うものとする。

なお、本工事の水素イオン濃度の排水基準は、環境基本法の生活環境の保全に関する環境基準の河川AA類型より pH6.5～8.5 とする。

【ボーリング工】

(1) 削孔方法及び削孔径

ボーリングは、ロータリー式ボーリングで行うものとし、孔径はφ100mm（コア採取無）で0.5m削孔した後、φ66mm（コア採取無）、鉛直方向に削孔を行うものとする。削孔深度は、表-1のとおりとする。

表-1 各孔の削孔長

ボーリング工	削孔長	備考
SD-8-1	12.0m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-13-1	5.3m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-18-1	11.0m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-20-1	6.4m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-21-1	4.0m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-7-1	10.8m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-17-1	14.2m	コンクリート及び軟岩Ⅱ
SD-19-1	8.2m	コンクリート及び軟岩Ⅱ

※軟岩Ⅱについては、各孔3mを見込んでいます。

なお、削孔により監査廊の配筋を損傷させないように、削孔に先立ち鉄筋探查等により削孔箇所の鉄筋位置を確認の上、削孔を行うものとする。

【基礎排水工】

基礎排水管の径は、管が詰まった場合にφ66mmのリボーリングができる管を立ち上がり管として設置するものとする。

2-1 基礎排水管の設置（通路部）

【ボーリング工】で削孔した孔に基礎排水管を設置するものとする。基礎排水管を設置する際は、接続部が自然と緩むことのないよう留意するものとする。

なお、管が通路部に露出することから、段差マット等で管の保護及び通行時の安全性を確保するものとする。

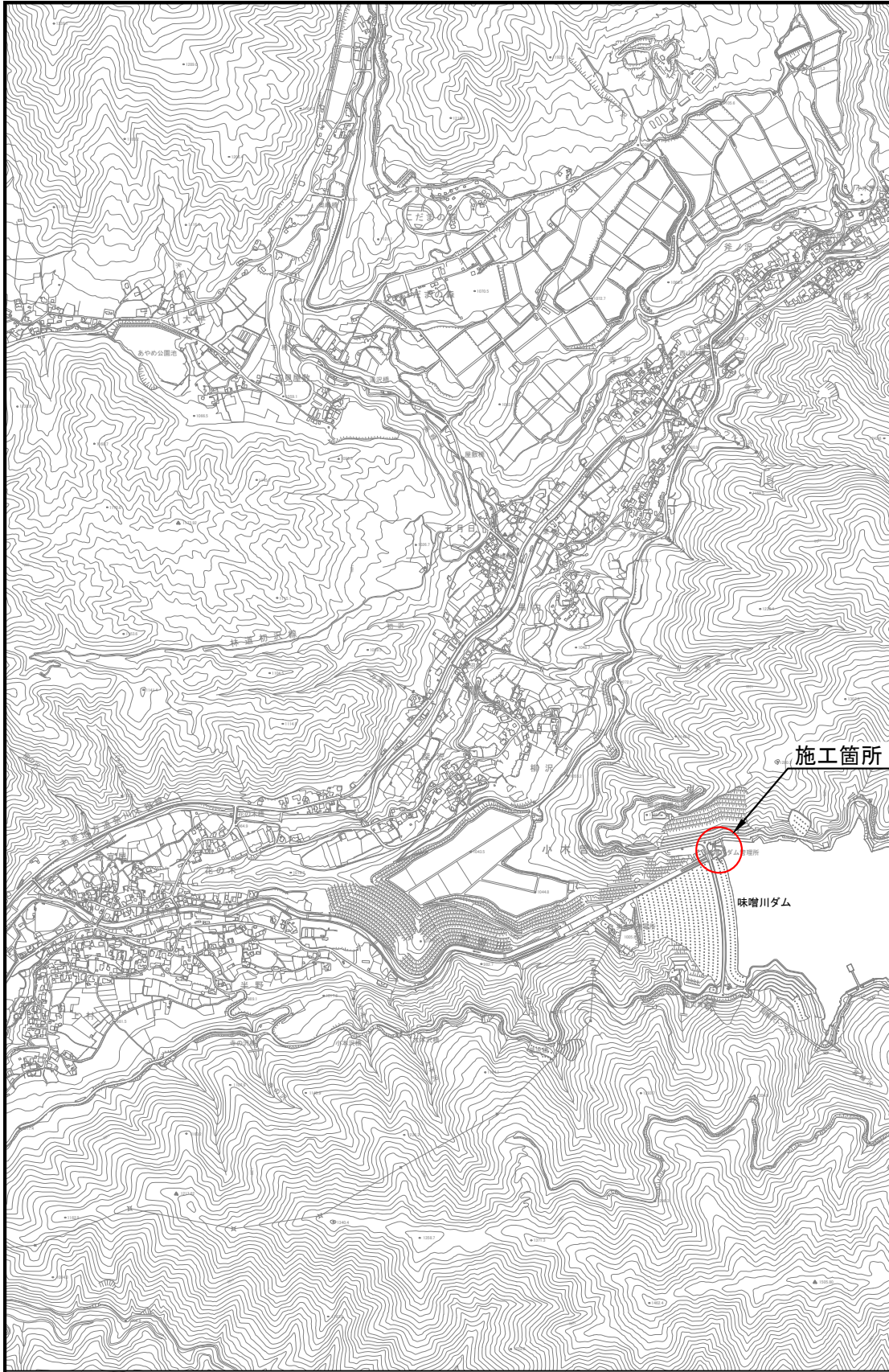
2-2 基礎排水管の設置（階段部）

第1節で削孔した孔に基礎排水管を設置するものとする。基礎排水管を設置する際は、接続部が自然と緩むことのないよう留意するものとする。また、作業を行う際は転落をしないよう、安全対策を行うものとする。

なお、階段の踏み板をはつり、基礎排水管が階段の昇降を阻害しないようにするものとする。

【雑工】

ボーリング工等により発生した汚泥（削孔スライム）、がれき類（コンクリート）の処分については、本見積では見込まないものとする。

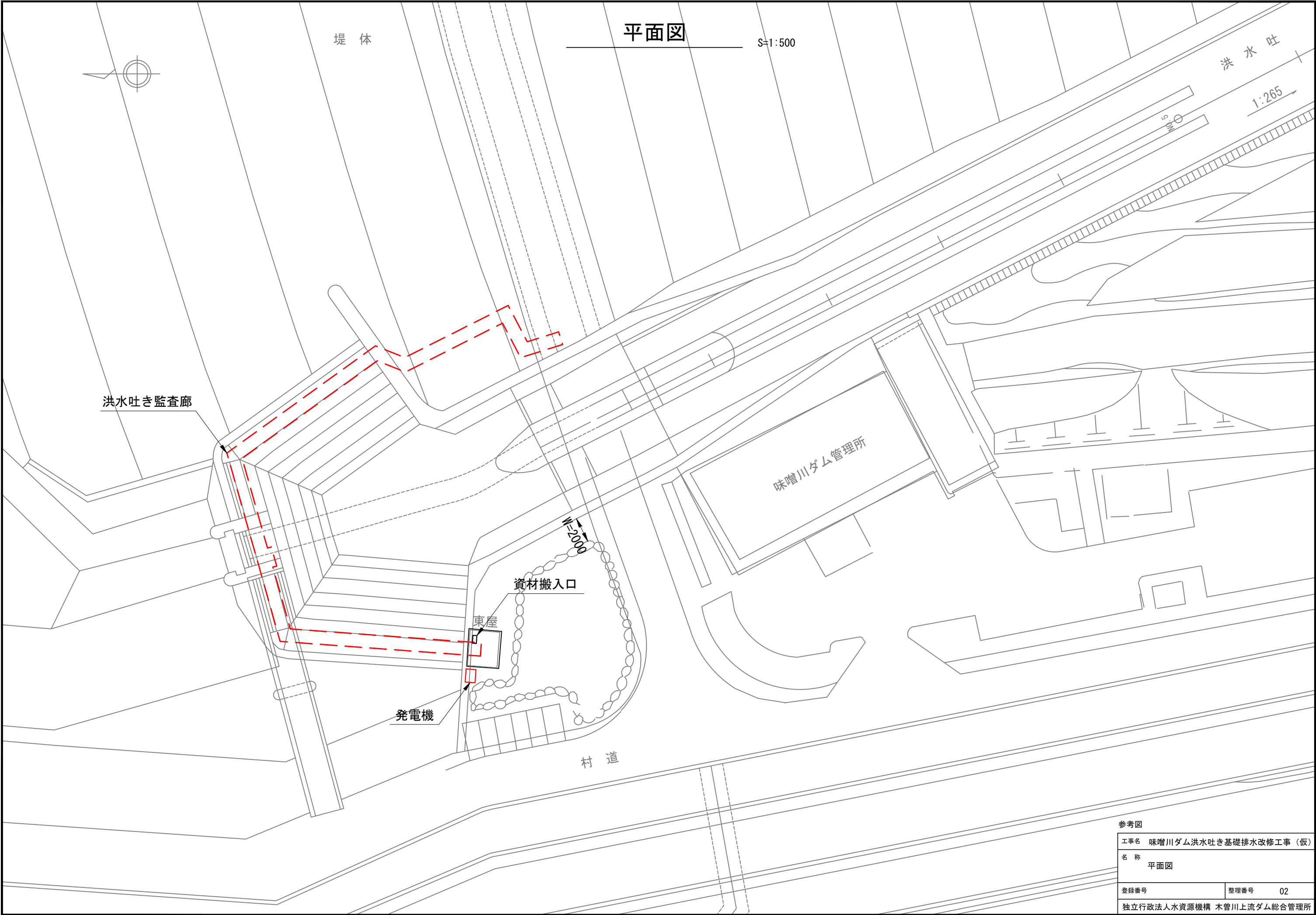


位置図

S=1:20,000 (A3)



工事名 味噌川ダム洪水吐き基礎排水改修工事（仮）	
名 称 位 置 図	
登録番号	整理番号 01
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所	

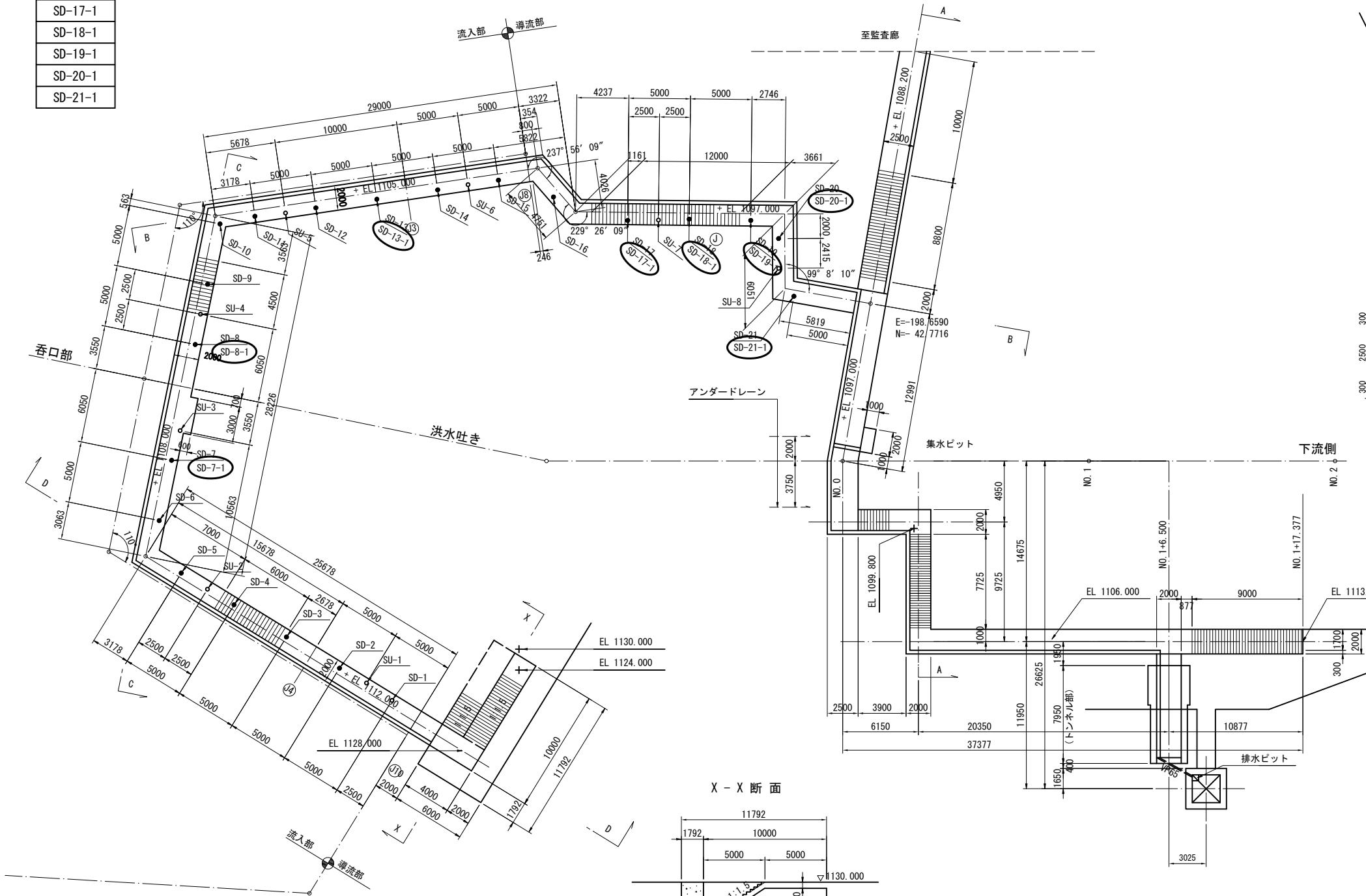


参考図	
工事名	味噌川ダム洪水吐き基礎排水改修工事（仮）
名 称	平面図
登録番号	整理番号 02
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所	

洪水吐き監査廊平面図 S=1:400

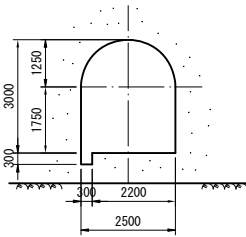
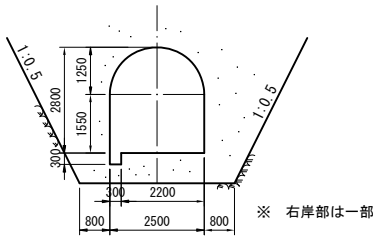
標準断面図
S=1:200

施工箇所
SD-7-1
SD-8-1
SD-13-1
SD-17-1
SD-18-1
SD-19-1
SD-20-1
SD-21-1



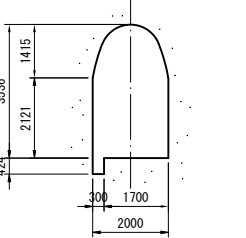
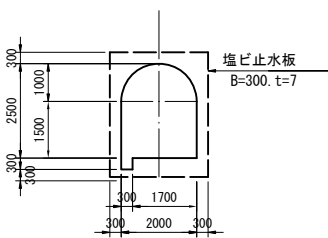
洪水吐き岩盤内通路

堤体内通路



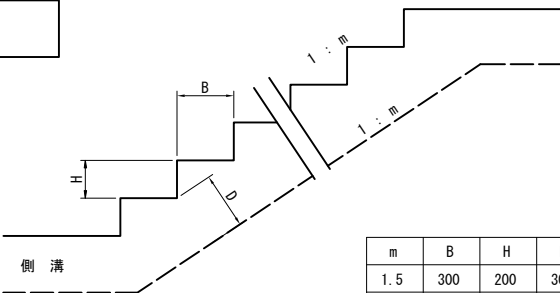
一般部

1:10 勾配部



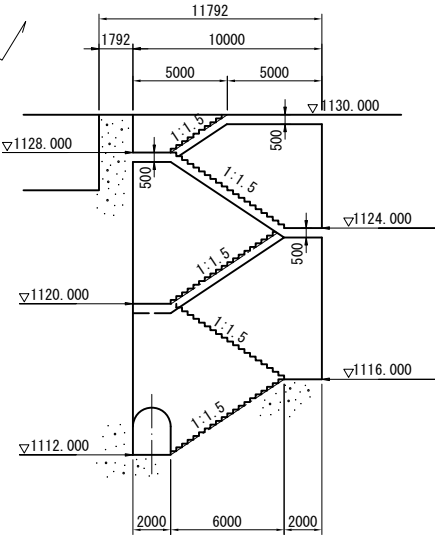
階段詳細

S=1:40



m	B	H	D
1.5	300	200	300
1.0	250	250	100
1.2	300	250	100
1.25	250	200	100

X-X 断面



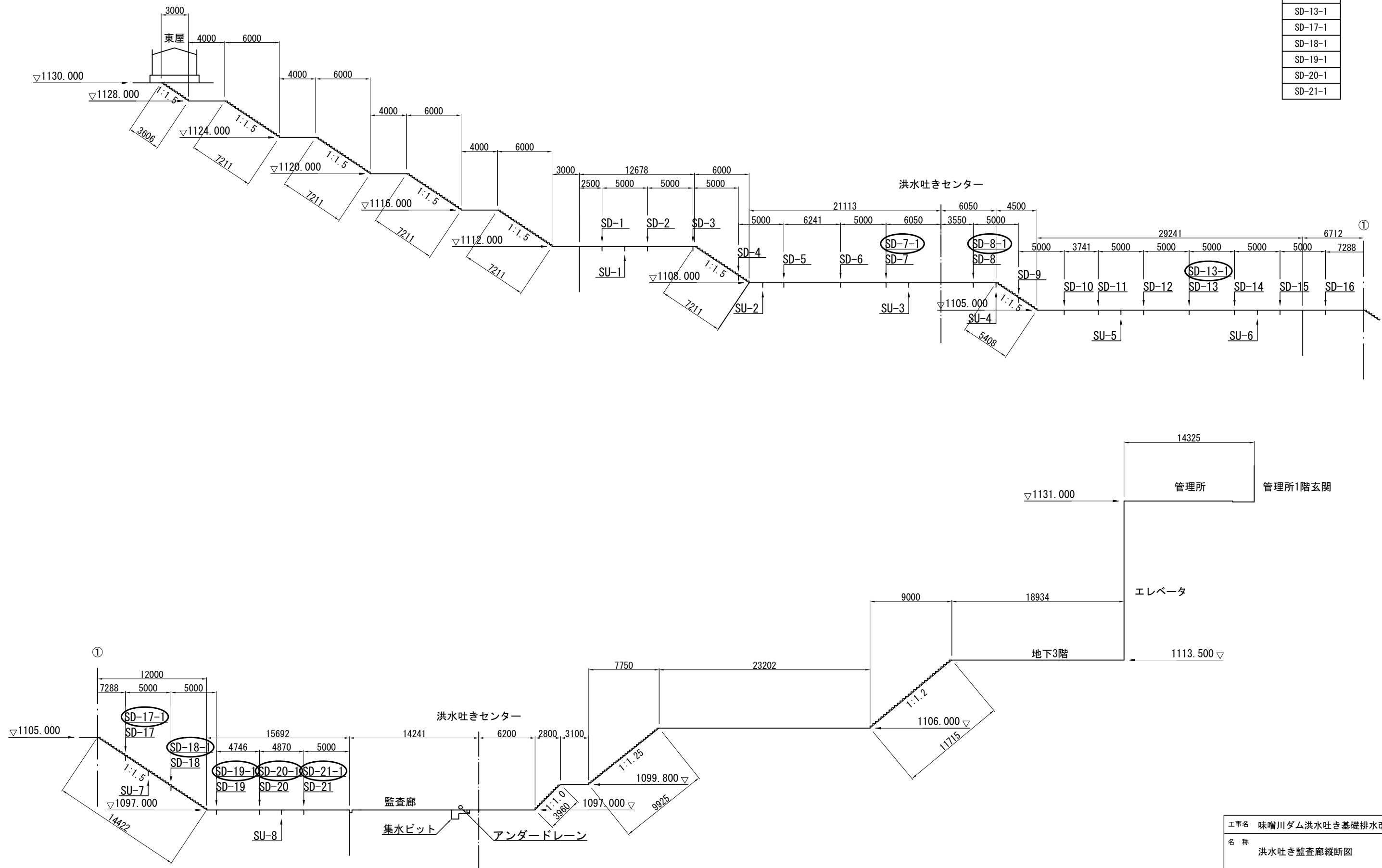
凡例

- ドレーン孔
- ピエゾメータ孔

工事名	味噌川ダム洪水吐き基礎排水改修工事（仮）		
名称	洪水吐き監査廊平面図		
登録番号	整理番号	03	
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所			

S=1 : 400

施工箇所
SD-7-1
SD-8-1
SD-13-1
SD-17-1
SD-18-1
SD-19-1
SD-20-1
SD-21-1

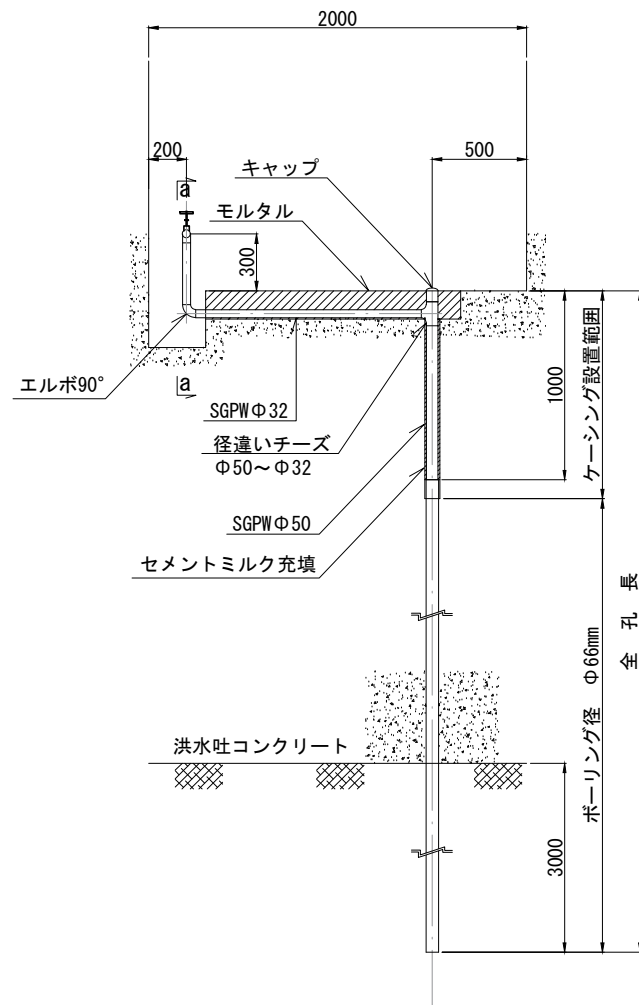


工事名	味噌川ダム洪水吐き基礎排水改修工事（仮）		
名 称	洪水吐き監査廊縦断図		
登録番号		整理番号	04
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所			

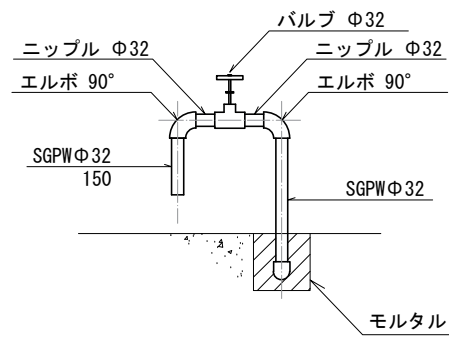
洪水吐き基礎排水孔詳細図

(既設)

基礎排水孔詳細図 S=1:40

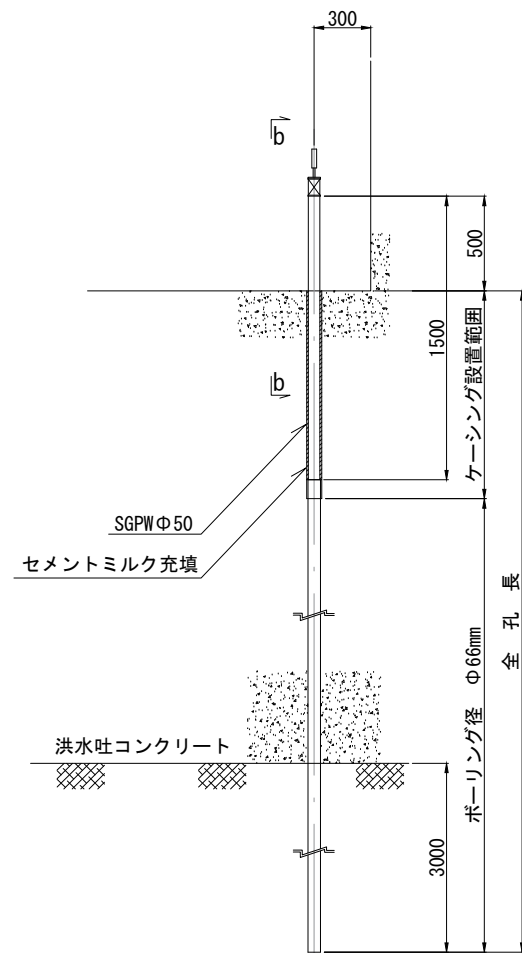


a-a断面 S=1:20

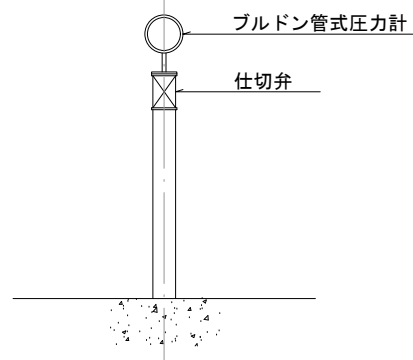


揚圧力計詳細図 S=1:40

※今回施工対象外

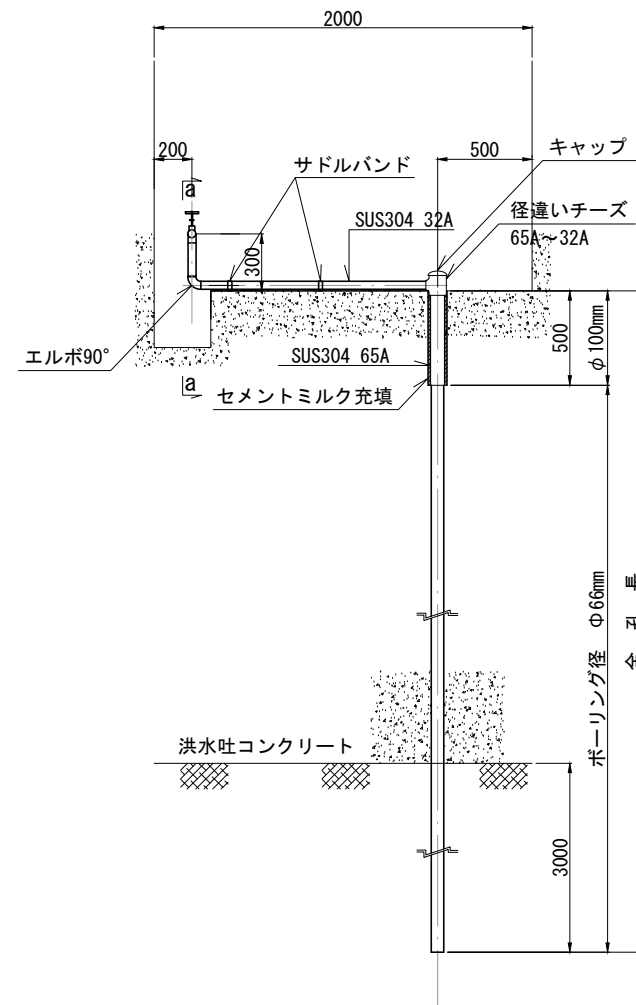


b-b断面 S=1:20

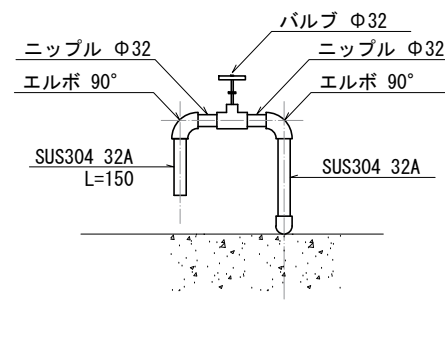


(新設)

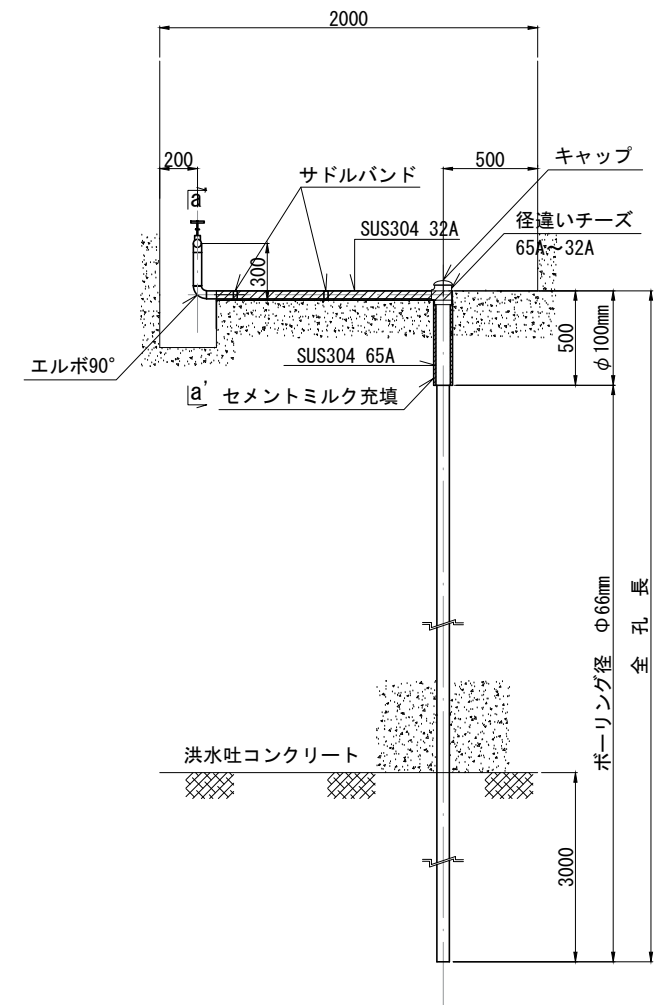
基礎排水孔詳細図 S=1:40
通路部



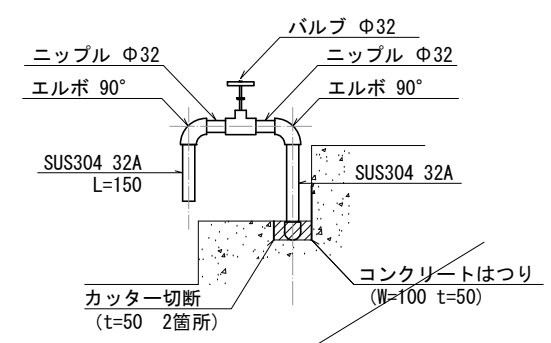
a-a断面 S=1:20



基礎排水孔詳細図 S=1:40
階段部



a'-a' 断面 S=1:20

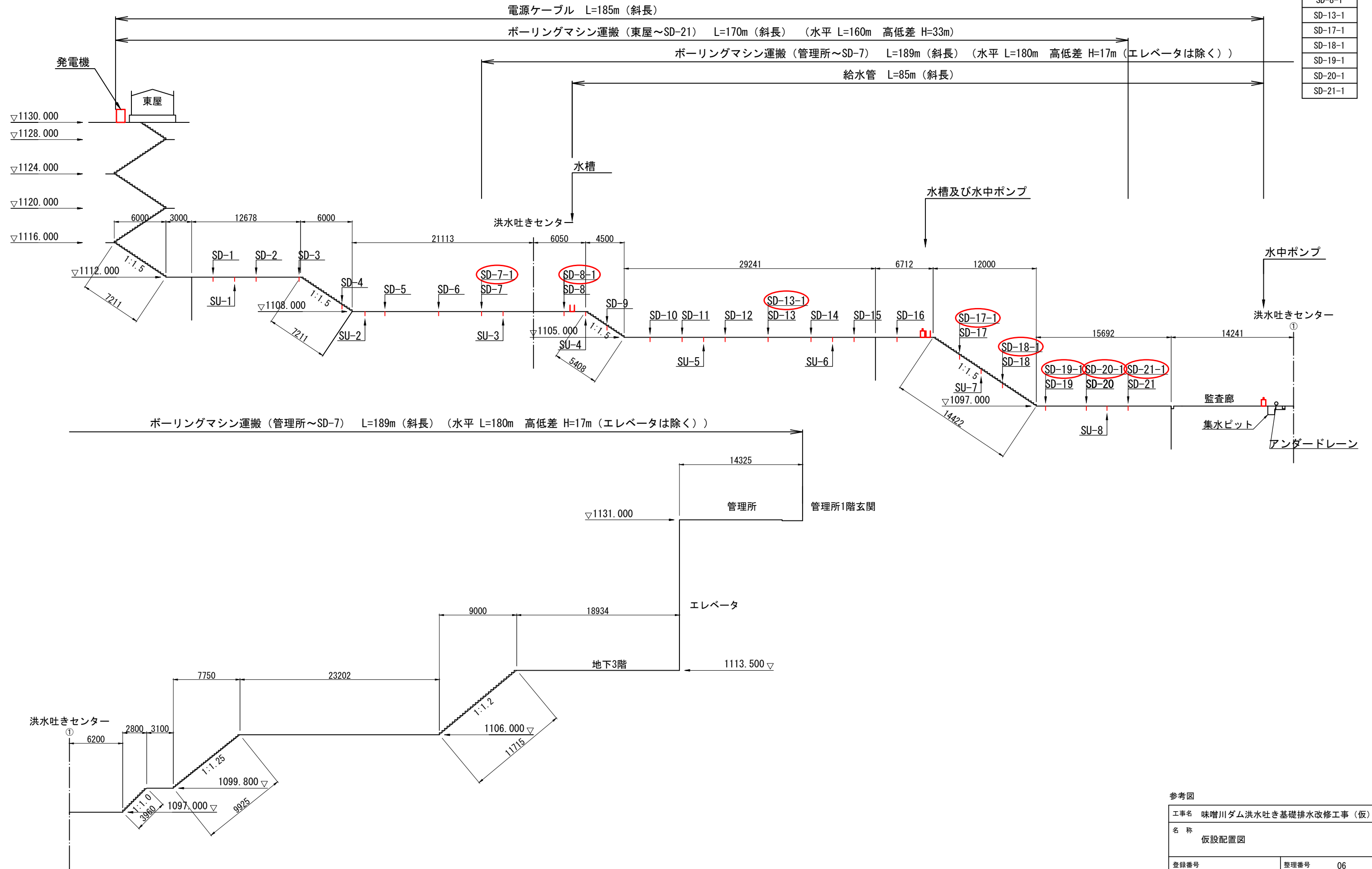


施工箇所	全孔長 (m)	適用
SD-7-1	10.8	通路部
SD-8-1	12.0	通路部
SD-13-1	5.3	通路部
SD-17-1	14.2	階段部
SD-18-1	11.0	階段部

施工箇所	全孔長 (m)	適用
SD-19-1	8.2	通路部
SD-20-1	6.4	通路部
SD-21-1	4.0	通路部

工事名	味嚙川ダム洪水吐き基礎排水改修工事（仮）		
名 称	洪水吐き基礎排水孔詳細図		
登録番号		整理番号	05
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所			

仮設配置図
洪水吐き監査廊縦断面図

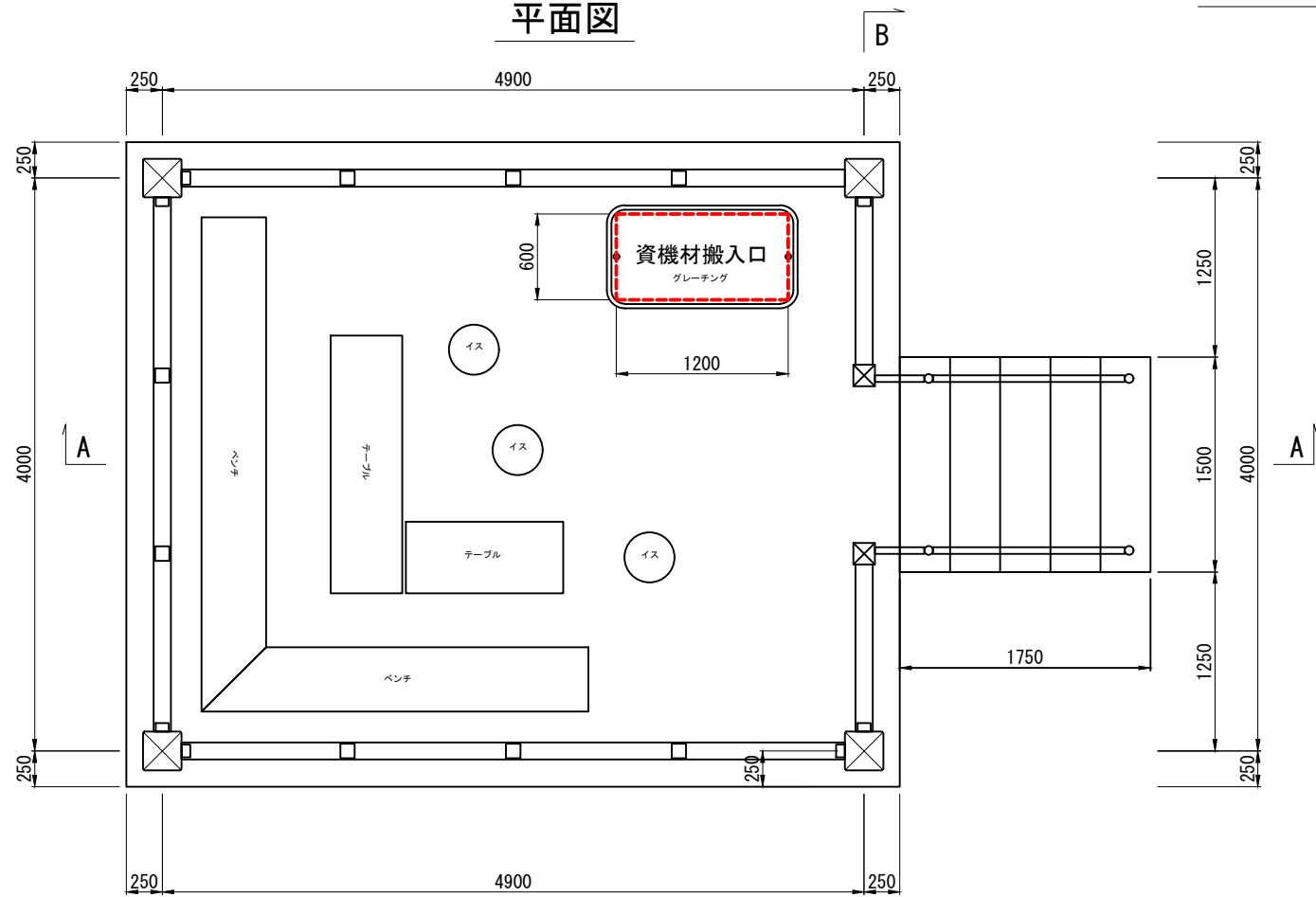


資機材搬入口

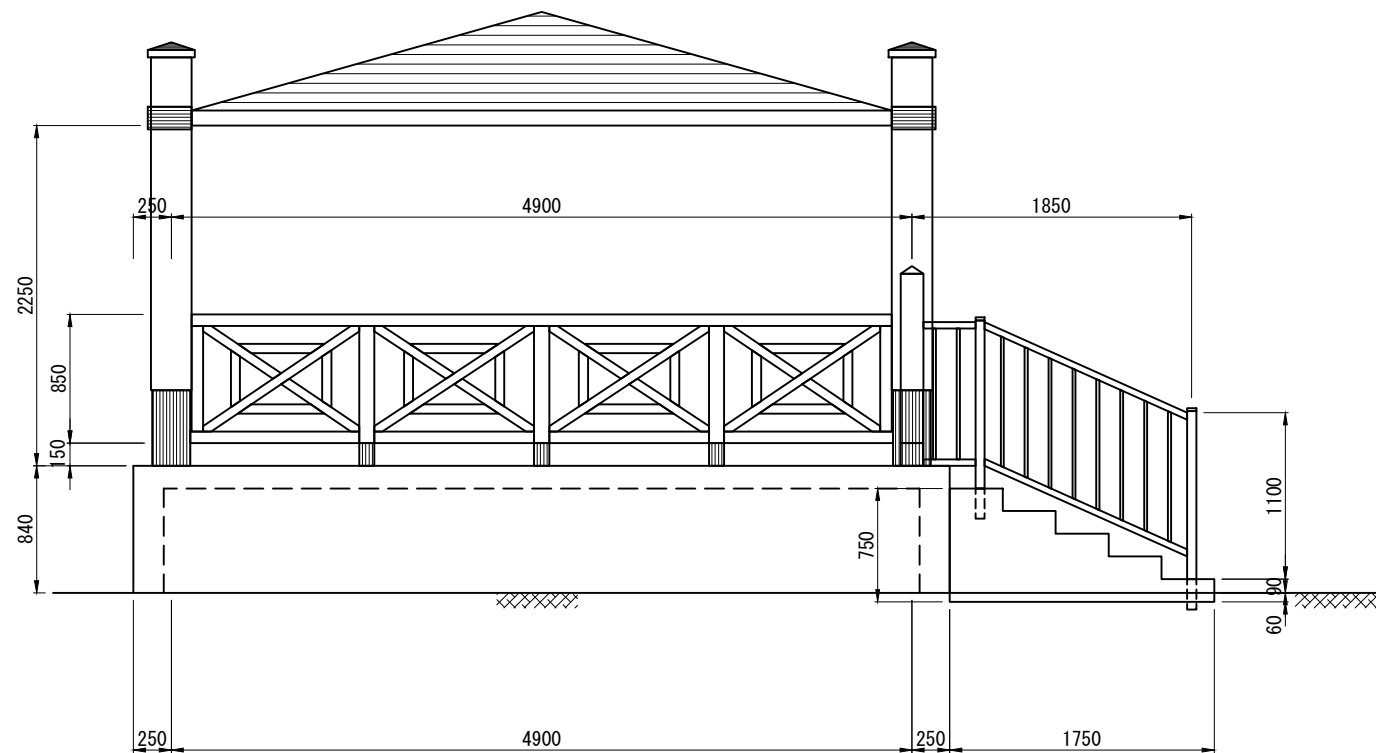
東屋詳細図

S=1:50

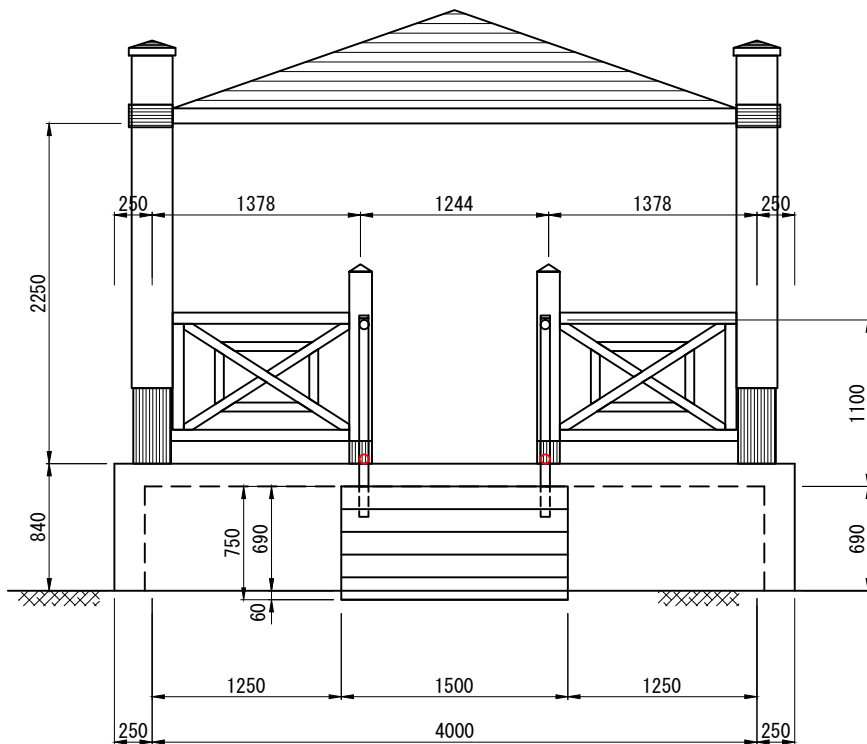
平面図



A-A

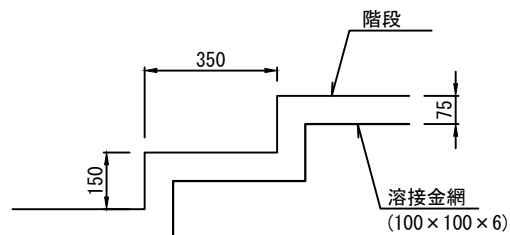


B-B



階段詳細図

S=1:10



参考図

工事名	味噌川ダム洪水吐き基礎排水改修工事（仮）		
名 称	資機材搬入口		
登録番号		整理番号	07
独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所			